

[なぜ効果的な対策を早く打つ必要があるのか?](案)

尾身茂 和田耕治 脇田隆宇 中島一敏 押谷仁
前田秀雄 岡部信彦 舘田一博 阿南英明 釜萯敏

I.現状の評価

○沖縄県:若者を中心に感染が増加

急増の原因

- ①ワクチン2回接種の感染予防効果の明確な減少(特にオミクロン株)
- ②オミクロン株の高い感染性・伝播性
(高い二次感染率及び短い世代時間の可能性)
- ③クリスマスから年末にかけての普段会わない人との接触機会の増加
(飲み会・家族・職場・医療機関・高齢者施設で感染)
※なお、現在報告されている感染者数の増加はクリスマス前後の感染を反映しており、さらに年末年始には検査数も比較的少なかったことから、今後、報告される感染者数が増加する可能性。

感染者の特徴

- ①多くは軽症(約●割は接種済み)
- ②オミクロン株の比較的低い重症化率の可能性
(ただし、高齢者に感染が広がると重症者が生じる可能性)
- ③潜伏期間が短い

○急速な感染拡大継続のインパクト

- ①重症化率が低くとも感染者数に比例する重症者数の発生
比較的軽症者の多い若者が主体の感染であっても、早晩高齢者に感染が広がり、重症者数が一定程度生じる可能性。
- ②軽症者の急増による地域医療資源に対する負荷の増加
保健所による濃厚接触者調査への負担の増加。
- ③医療・介護などを含む社会機能維持の困難
このまま感染がエッセンシャルワーカー(医療従事者を含む)に広がると出勤できない人々が増える。

Ⅱ. 医療逼迫の防止及び社会機能の維持に向けての効果的な対策

- ・高齢者への追加接種が少なくとも1月中には終了しないこと
- ・在宅療養者の経過観察などを行う医療機関の全てが経口抗ウイルス薬を処方する機関として登録するまでには暫く時間がかかること
- ・更に今週末の3連休と成人式の影響により更なる感染拡大があり得ることなどから、以下の4つの対策が重要。

1. 感染から高齢者を守ること

- ①優先課題として高齢者への追加接種の前倒し。
- ②医療機関や高齢者施設等での従業員への追加接種。
- ③高齢者施設・医療機関の従業員における定期的検査の再開。

2. 成人式を含む連休での基本的な感染対策の徹底

- ①少しでも具合が悪い場合には外出を自粛し迅速に検査と受診。
- ②飲み会や食事会は第三者認証店で、少人数で行い、大声・長時間を避けること。
- ③マスク着用や換気、三密回避等の基本的な感染防止策の継続・徹底。

3. 自治体による無症状者・軽症者・濃厚接触者に対する弾力的な対応

- ①PCR 検査2回陰性を求めず、発症後 10 日間経過で退院可能とすること。
- ②在宅療養・宿泊療養施設への診療所・医師会・看護協会の更なる協力。
- ③在宅療養者の経過観察などを行う医療機関の経口抗ウイルス薬を処方する機関としての登録の加速。

4. BCP(事業継続計画)実施の準備

- ①欠勤者増加に伴う BCP を用いた業務の優先付け。
- ②テレワークの推進

以上の対策が十分に進められなければ更なる対策の強化が必要になる可能性がある。